



みえ県議会だより

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議 「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877
FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp
URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/
URL https://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)
URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook)



審議結果（11月定例会会議）

可決した議員提出議案

- 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案 ほか1件

可決した議案

予算

- 令和7年度三重県一般会計補正予算（第4号） ほか27件

条例

- 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案 ほか13件

その他議案

- 当せん金付証票の発売について ほか15件

同意した人事案件

- 教育委員会委員の選任につき同意を得るについて

認定した一般会計・特別会計決算

- 令和6年度三重県一般会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県県債管理特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算

採択した請願

- 私学助成に関することについて
- 豊かな伊勢湾に向けた取り組みに関することについて

不採択とした請願

- 先生増やして、ゆきとどいた教育を求めることについて

可決した意見書案

- カーボンニュートラル実現に向けた自動車産業への支援の拡充等に関する意見書案
- 私学助成の充実を求める意見書案
- 脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書案

否決した意見書案

- 日本国国章損壊の罪の早期制定を求める意見書案

議員別の賛否等の状況
(PDFファイル)

11月採決分



12月採決分



三重県議会定例会 今後の日程（予定）

令和8年2月から3月までの日程（予定）は次のとおりです。

2月

- 3日 代表者会議
- 10日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会(当初予算)
- 17日 本会議(議案上程)
- 18日 議会運営委員会
- 25日 本会議(代表質問、議案質疑)
- 27日 本会議(一般質問)



この日程は、令和8年1月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。

TV テレビ中継

インターネット中継

3月

- 3日 本会議(一般質問)
- 4日 本会議(追加議案上程)
- 6日 本会議(一般質問、議案質疑)
- 9日 予算決算常任委員会(予算総括質疑)
- 10日～13日 各行政部門別常任委員会・分科会
- 18日 予算決算常任委員会
- 19日 代表者会議
- 23日 本会議(採決)
- 31日 本会議(議案上程・採決)

代表質問（10月20日）



三重の未来農業ビジョン（仮称）について

ふじ た よし み
藤田 宜三 議員 新政みえ／鈴鹿市選出



問

今までの県の農業政策は国の政策の追従で、独自性に欠けているように思います。令和8年度三重県行政展開方針(案)には、「三重の未来農業ビジョン（仮称）」の策定を開始するとありますが、このビジョンについて、知事のお考えをお聞かせください。

答

農業は、担い手の減少、気候変動や米価格の急激な変動などの課題を抱え、岐路に立っており、県独自の考え方を出す時期だと考えます。令和7年度に進めている「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」の改正と基本計画の見直しに加え、議論を重ね、新しいものを求めていく必要があります。先進事例等を学び、県の今後の農業のビジョンを取りまとめたいと考えています。

その他の質問事項

- 知事の令和8年度三重県行政展開方針（案）への思いについて

中小企業・小規模事業者の支援

の ぐ ち た だ し
野口 正 議員 自由民主党／松阪市選出



問

最低賃金上昇により、県内の中小企業・小規模事業者の経営状況は厳しさが増すと予想されます。物価高騰対策が遅れ、エネルギー価格の高騰を価格に転嫁できていない今こそ、持続化給付金のような支援や、県独自の支援策が必要と考えます。県の現状認識と、今後の支援について伺います。

答

県内産業の柱である中小企業・小規模事業者を取り巻く状況は、物価高や人件費高騰、労働力不足等により非常に厳しい状況です。県ではこれまで、財政的な支援の他、適正取引・価格転嫁に向けた共同宣言の採択や商工団体および金融機関等による伴走支援等に取り組んできました。今後も、中小企業等が持続的に発展できるよう国に対して要望を行う他、県独自の支援策についても、関係団体の意見や国の動向等を注視して検討していきます。

その他の質問事項

- 農林水産業の振興および食産業の安定的支援
- 医療提供体制の確保（病院の経営、医師の確保） ほか

文化と教育について

こ ば や し ま さ と
小林 正人 議員 自民党県議団／鈴鹿市選出



問

グローバル化が進む中で、他国との文化交流は、個々の考え方や価値観の違いから危険視されることがあります。一方、民族や国の垣根を超えて、互いの文化を尊重し合えば、世界平和の礎になると考えます。このことについて、知事のお考えをお聞かせください。

答

1967年の国際観光元年に、国連は「観光は平和へのパスポート」というスローガンを掲げました。観光を通じてその国の人や文化に触れ、その良さを実感し、尊重することは、平和維持に寄与することがあり得るということです。先日閉幕した大阪・関西万博では、多くの国の老若男女が関西パビリオン内の三重県ブースを訪れ、三重県の良さを感じ、三重県を訪れたいという感想を持たれました。そういった文化交流が平和に繋がると考えます。

その他の質問事項

- 県民の価値観と知事の思う三重の姿について
- 県内企業における日本語教育支援について ほか